

第37回 ゆうちょアイデア貯金箱コンクール実施概要

1 目的

これからの社会を担う子どもたちに、貯金箱の作製を通じて、貯蓄に対する関心を持っていただくとともに、造形的な創造力を伸ばすことを目的に開催するものです。

また、応募作品数に応じて公益財団法人日本ユニセフ協会および独立行政法人国際協力機構に寄附を行い、東日本大震災で被害にあった子どもたちとその家族や、開発途上国で貧困や病気に苦しむ子どもたちのための支援活動に役立てていただくことで、コンクールに参加した子どもたちに、被災地の復興支援や、開発途上国に暮らす子どもたちの現状に目を向けてもらうとともに、寄附文化への気付きと社会貢献活動への参画の機会を提供します。

2 実施機関

- (1) 主 催：株式会社ゆうちょ銀行
- (2) 後 援：文部科学省、金融広報中央委員会、全国都道府県教育委員会連合会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全国造形教育連盟、公益財団法人日本ユニセフ協会、独立行政法人国際協力機構
- (3) 協 賛：郵便局株式会社

3 応募期間

2012年8月27日(月)から同年9月30日(日)まで

4 応募規定

- (1) 応募資格
日本全国の小学校等に在籍する小学生の皆さま
- (2) 応募作品
下記の条件を満たす貯金箱であること。
ア 持ち運びができる程度の耐久性があること。(材料に制限はありません。)
イ 一辺の長さが25センチメートル以内の大きさであること。
ウ 肖像権や著作権等を侵害するものでないこと。
(スポーツ選手や有名人などの写真が使用されていないもの)
エ 応募者本人が作製したもので、他のコンクール等に未発表のもの。
(応募点数は、一人1点に限ります。)

5 応募方法

- (1) 事務局から全国の小学校あてに、応募要領等をお知らせする応募キットを送付します。
- (2) 応募される方は、所属する小学校に応募作品をご提出いただきます。
- (3) 各小学校は提出された作品の中から各学年1点(計6点)の学校の代表作品を選出し、応募要領に従い、応募期間中にゆうちょアイデア貯金箱コンクール専用ホームページ(<http://www.idea-chokinbako.jp>)へのアクセスまたは郵送により、デジタルカメラで撮影した作品の画像とともに、必要事項(氏名、学校名、学年、参加者数、貯金箱の仕組みなど)を入力して応募します。

6 審査

- (1) ゆうちょ銀行において、各学年ごとに応募作品の一次審査を行い、上位作品 240 点を選定します。
選定した 240 点の中から、12 月上旬に行われる最終審査において、各賞の受賞作品を選定します。
- (2) 一次審査および最終審査は、主催者、後援団体関係者、協賛団体関係者、教育関係者および美術専門家等によって行います。

7 各賞の選定

各学年ごとに、各賞の受賞作品を選定します。

- | | | | | |
|---------------|-----|-----|---|-------|
| (1) 文部科学大臣奨励賞 | 各学年 | 1 点 | 計 | 6 点 |
| (2) ゆうちょ銀行賞 | 各学年 | 1 点 | 計 | 6 点 |
| (3) ゆうびんきょく賞 | 各学年 | 1 点 | 計 | 6 点 |
| (4) 審査員特別賞 | | | 計 | 3 点 |
| (5) すごいアイデアで賞 | | | 計 | 219 点 |

入賞者には賞状と賞品を贈呈するとともに、応募者全員に参加賞を贈呈します。
また、学校代表作品には、学校代表賞を贈呈します。

8 寄附の実施

ご応募いただいた作品 1 点につき 10 円を、ゆうちょ銀行から公益財団法人日本ユニセフ協会および独立行政法人国際協力機構に寄附します。寄附金は東日本大震災で被害にあった子どもたちとその家族や、開発途上国で貧困や病気に苦しむ子どもたちのための支援活動などに役立てられます。

9 展示会の実施

入賞作品 240 点は、東京、名古屋、大阪を含む全国 5 か所で開催する展示会で展示する予定です。